

林いさお通信



ブログ：http://pikaichino.exblog.jp/ Tel 049-259-2228 共に!!
討議資料 No. 103 大熊町訪問 25年10月28日号 林いさお後援会



タイベックスーツを着用し、帰宅困難区域へ

タイベックスーツを着用し、帰宅困難区域へ
大熊町役場職員により、帰宅困難区域にご案内いただき、津波の被害を受けた福島原子力発電所から500メートルにある県栽培漁業センター、大熊町役場、そして、除染が始まっ

国や県の支援が必要であることは言うまでもないことですが、当町としても今後引き続き、微力ではあっても支援をさせていただきますと強く感じたとこです。

大熊町訪問

10月23～24日の二日間、埼玉
県入間郡町村会（三芳町、毛呂山町、越生町）の行政視察で福島県大熊町を訪問しました。
大熊町は、東日本大震災で地震、津波の被害と共に、福島第一原子力発電所の所在地であり、原子力発電所の事故により

約11000人の町民の皆さんが、県内、県外に避難しています。
三芳町は、大熊町と埼玉
県市町村助け合い制度により支援のパートナーとなっており、保健士の派遣やふるさと大熊まつりに蒸かしたサツマイモの提供もさせていただいています。

た居住制限区域などを視察しました。
大熊町は、現在、第一次大熊町復興計画に基づき復興、復旧に全力をあげていますが、多くの課題があります。①いつ帰れるかわからないという時間軸が定まらない②除染計画が不明確である③放射線量の科学的な基準が必要④原子力発電所事故の収束、廃炉工程が不明確であることなど。



居住制限区域で除染された土壌の仮置き場



津波被害のままの栽培漁業センター



大熊町に派遣している保健士を激励

渡辺町長の「多くの方々にお世話になっているので、いつか皆さんに恩返しをしたい。」と言われた一言に胸が痛みました。そんな日が早く来ることを願ってやみません。
列目中央）



渡辺町長に川越いもの差し入れ

埼玉県入間郡町村会二日目は、会津若松市にある大熊町役場出張所を訪れ、渡辺町長を表敬訪問しました。
また、大熊町には三芳町から保健士を派遣させていただいており、職場を訪れ、激励させていただきました。業務内容は、避難をしている方々の精神保健の訪問や健診関係などの仕事です。大熊町役場の職員の方々にも大切にされ、職場に溶け込み、重責を果たしていました。今回の経験をこれから的人生に活かしてほしいと思います。（写真は職員の皆さんと。二

★大熊町の現状、長期的な支援が必要です！